

**開成営農経済センターからのお知らせ**

回覧の注文書について

「防鳥資材」「被覆植物種子」「稲干ポニー」「きえ太郎Z」
※お申し込みのお忘れがないようご注意ください。

農薬・資材等の自己取り日について

「水稻肥料（追肥分）」「キウイフルーツ笠紙」「ラウンドアップ」「カップ天国」
令和5年6月15日（木）・16日（金）・17日（土）

9：00～15：00までに取りに来てください。

上記以外のご注文品は準備ができ次第、ご連絡いたします。

技術顧問の日 （園芸相談）	農業の専門家が農作業の相談に応じます。 3日・4日・10日・17日・20日・21日・24日・25日は不在となります。 （※上記以外は在席予定となっておりますが、都合により不在の場合がございます。）
お米の日	神奈川県産の玄米を特別価格で販売します。（毎月第2・第4火曜日） 6月13日・27日となります。
棚卸の日	ご迷惑をお掛け致しますが、何卒よろしくお願い申し上げます。 6月30日（金）は棚卸のため、15時に閉店致します。 尚、コイン精米機は17時まで営業致します。

*令和5年4月1日（土）より営業時間に変更になっています。

（8時40分～16時00分）お間違えのないようご注意ください。

【水稻苗購入者の方へ】

苗箱の返却は、最寄の支店又は営農経済センターへお願いします。

※返却の際は「水稻苗 苗箱返却表」を添付してください。

※開成育苗センターへの返却は、6月18日（日）午前8時30分～11時をお願いします。

【2023 開成あじさいまつりに伴う交通規制のお知らせ】

あじさいまつり開催期間【6月10日（土）～18日（日）】

昨年同様、グリーンセンター周辺道路にて交通規制が実施されますので、ご来店の際はご注意下さい。

規制時間帯 平日（6月12日～16日） 10時～17時

土・日（6月10日・11日・17日・18日） 9時30分～17時

<注意>

「収穫〇日前」：定められた使用時期。記載されている収穫前日数まで散布ができます。（前日は24時間前）

「回数」：農薬成分の総使用回数のこと。栽培期間中、何回散布可能か確認しましょう。

△△店舗により農薬の在庫状況が異なりますので、記載の農薬を購入される場合は購入先の店舗に
事前に在庫確認をしていただくとスムーズに購入できます。△△

～作物管理情報～

※今年の作物については、生育が早い傾向です。記載している散布時期については、平年の散布時期目安となります。園地をご確認いただき、生育に応じた時期に散布をお願い致します。

※農薬名に網掛けがあるものは購入時に印鑑が必要となります。

——【柑 橘】 *下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除

6月中～下旬

○黒点病

ジマンダイセン水和剤 600倍 166g/水100ℓ

【温州みかん】収穫30日前 4回 【温州ミカンを除く】収穫90日前 4回

○ミカンハダニ
カイガラムシ類

アタックオイル 又は ハーベストオイル 又は スプレーオイル

150倍 666ml/水100ℓ

○カビビダニ

ハチハチフロアブル（劇） 収穫前日 2回 2,000倍 50ml/水100ℓ 又は

アザミウマ類

コデツフロアブル（劇） 収穫前日 2回 6,000倍 16ml/水100ℓ

（発生園に散布）

※カイガラムシ類が前年多発した園ではアプロードエースフロアブル1,000倍又はスタークル顆粒水溶剤2,000倍を6月上旬に散布しましょう。アプロードエースフロアブルとスタークル顆粒水溶剤はアブラムシ類にも効果があります。スタークル顆粒水溶剤はミカンハモグリガにも効果があります。

施肥

6月上中旬

夏肥施用 特選みかん配合655 160kg/10a

摘果

（大津・青島）

大玉果になりやすいので、隔年交互結実をさせてなり込ませます。表年の樹はこの時期の摘果を控え、10月下旬からの仕上げ摘果で上を向いた極大果だけを摘果しましょう。裏年の樹は7月中に全摘果しましょう。

（不知火・はるみ）

樹冠上部に着果させると樹勢の低下につながります。

生理落果が始まったら樹勢強化の為、樹冠上部1/3～1/4は全摘果し樹勢の強化を図りましょう。

——【キウイフルーツ】——

病害虫防除

6月中旬

○果実軟腐病 トップジンM水和剤 1,000倍 収穫前日 5回 100g/水100ℓ

又は フロンサイドSC 2,000倍 収穫30日前 1回 50ml/水100ℓ

○キウイハダニ フェニックスフロアブル 4,000倍 収穫7日前 3回 25ml/水100ℓ

6月～8月

○カメムシ発生時 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍 収穫前日 3回 50g/水100ℓ

夏肥

6月上旬

キウイ配合 80kg/10a

初期肥大促進のために重要。着果が多くなる場合は、20～40kg増量します。

摘果

2回以上に分けて摘果しましょう。

・荒摘果 6月上～中旬

奇形・扁平・傷・病害・小玉果を除去。荒摘果はできるだけ早く行くと果実肥大が良好になります。

・仕上げ摘果 6月下～7月上中旬

奇形果・傷果・小玉果から摘果する。1㎡あたり25着果を目標に摘果しましょう。

——【く り】——

病害虫防除

6月下旬～7月下旬

○カミキリムシ類 トラサイドA乳剤 200倍 収穫14日前 1回 500ml/水100ℓ

*葉にかからないよう樹幹に散布します。

——【う め】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除 6月上中旬（漬け梅に散布）

○黒星病・すす斑病 インダーフロアブル 5,000倍 収穫前日 2回 20ml/水100㍓
又はオーシャイン水和剤 2,000倍 収穫前日 3回 50g/水100㍓

収穫

収穫後の取扱いは丁寧におこないましょう。当たり傷はその時は目立たなくとも後日変色し、出荷先や購入者からのクレームの原因となります。

（梅干用）果実表面の毛じが半分以上脱落し、果面に光沢が出てきた頃になります。

1 樹を1度に収穫せずに期間を空けて2回以上にわけ、未熟果は出荷をしないようにしましょう。

——【か き】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除 6月上旬～中旬

○カキノハタムシガ フェニックス顆粒水和剤 4,000倍 収穫7日前 2回 25g/水100㍓
又は ダントツ水溶剤 4,000倍 収穫7日前 3回 25g/水100㍓

○落葉病・うどんこ病・炭疽病 スコア顆粒水和剤 3,000倍 収穫前日 3回 33g/水100㍓
又はアミスター10フロアブル 1,000倍 収穫7日前 3回 100ml/水100㍓

追肥 6月中下旬

柿配合 50kg/10a

摘果

生理落果が終了する7月中旬までに1結果母枝2～3果にしましょう。

——【いちじく】*下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。——

病害虫防除

6月上旬 ○アザミヤ類・かきり虫類 ダントツ水溶剤 2,000倍 収穫3日前 3回 50g/水100㍓
○疫病 Zボルドー 1,000倍（葉害軽減のためクレフノン200倍加用）

6月中下旬 ○アザミヤ類 モスピラン顆粒水溶剤（劇） 2,000倍 収穫前日 3回 50g/水100㍓
○疫病 ランマンフロアブル 2,000倍 収穫前日 3回 50ml/水100㍓
又は Zボルドー 1,000倍（葉害軽減のためクレフノン200倍加用）

追肥 6月～7月

生育状況に応じて、NK化成2号を20～40kg/10aを施用する。※生育が順調な場合は施用しない。

——【水 稲】——

水管理 田植え後、4～5日は水温を保つため深水とします。（掛け流しはしない）

以降は3～5cm前後の深さを保ちましょう。

雑草防除 主な除草体系（例）

通常	一発処理剤（トップガンR1 ^キ 粒剤など）
雑草多発田	一発処理剤＋後期剤（クリンチャーバスME液剤 など）
ノビエ多発田	一発処理剤＋中・後期剤（ヒエクリーン1 ^キ 粒剤、クリンチャーバスME液剤、クリンチャーEW など）
コナギ多発田	一発処理剤＋後期剤（バサグラン粒剤 など）
クログワイ多発田	クログワイに効果のある一発処理剤（トップガンR1 ^キ 粒剤など）＋後期剤（バサグラン粒剤、クリンチャーバスME液剤など）
藻類多発田	一発処理剤＋モグトン粒剤

* 水稲の一発処理剤（および初期剤）は、移植後日数の早い時期に散布するよう心がけ、散布後7日間は止め水にし、湛水状態を保ちましょう。

* 水稲除草剤の散布時期は薬剤によって異なるので、ラベルをよく確認しましょう。

— 【お 茶】 *下線部は重要防除です。必ず防除しましょう。 —

二番茶の摘採

一番茶摘採から45日後が目安となります。

病虫害防除

※安全使用日数や周辺の摘採日程に十分留意し防除しましょう。

6月上旬～6月中旬 (二番茶摘採園)

○チャノミドリヒメコバエ

チャノイダガミ

カザワガニ

チャノコナジラミ

コテツフロアブル(劇) 2,000倍 摘採7日前 2回 50ml/水100㍓

※チャノコナジラミを対象とする場合は6月上旬に散布する。

○チャノホソガ多発時 カスケード乳剤 4,000倍 摘採7日前 2回 25ml/水100㍓

○もち病・炭疽病 オンリーワンフロアブル 3,000倍 摘採7日前 2回 33ml/水100㍓

※新梢枯死症対策として使用する場合は2,000倍 50ml/水100㍓とします。

6月下旬～7月上旬

○輪斑病・新梢枯死症 カスミンボルドー 1,000倍 摘採14日前 2回 100g/水100㍓

*剪整枝後、出来るだけ早く(3日以内)散布しましょう。

施肥

(一番茶摘採のみの場合) 6月下旬 なたね粕 100kg/10a

(二番茶摘採を含む場合) 二番茶摘採15日前 硫安 40kg/10a

二番茶摘採後 なたね粕 100kg/10a

一番茶の芽出し肥を多く施用した方は、二番茶の芽出し肥を減らしてください。

農薬を使用する際は、適用作物・希釈倍数・使用回数・使用方法等の使用基準を遵守するとともに飛散防止に努め、ラベルをよく確認し、必ずラベルに基づいて使用しましょう。

水稲除草剤(拡散性製剤)の散布実演会の開催について

～拡散性製剤で省力化のご提案～

下記のとおり実演会を開催いたします。ぜひご参加ください。

1. 日時・会場 ※雨天決行

日付	時間	集合場所	備考
6/9(金)	13:30より	小田原市西大友 (神奈川県小田原市255店西側圃場)	直接会場までお越しください。 駐車スペースに限りがあります ので、なるべく乗り合わせや徒 歩等でお越しください。
6/14(水)	13:30より	福沢総合選果場 (南足柄市怒田1332)	集合後、圃場へ移動します。 (会場が分かる方は直接集合し て構いません)

2. 対象者 JA かながわ西湘管内組合員(水稲栽培者)

3. 内容 水稲除草剤(拡散性製剤)の散布実演会

6/8…楽粒・FG剤の散布 6/14…豆つぶ剤の散布

4. 申込 6/5(月)までに営農部営農指導課までお申込みください。 (TEL: 0465-46-6950)

※新型コロナウイルス感染拡大防止につき、発熱や風邪の症状がある方は参加をお控えください。

※会場の地図については、経済センター・支店にお問い合わせください。

【拡散性製剤とは】

製剤自身が水面上で均一に拡散するので田んぼに入らず手軽に散布できます。除草剤を田植機で同時散布せず、田植後に動噴や手での散布をしている方などには作業が省力化されおすすめです。